

えすぽわーる

えすぽわーる新函館はJA新はこだてとみなさんをつなぐコミュニケーション誌です

6

2015
No.154

— SHINHAKODATE —



JA新はこだて

<http://www.ja-shinhakodate.jp/>



真っ赤に色づいた果実の輝きは

陽の光を集めて甘く甘く熟した証し

農すー生きる力を体現した容姿、自然本来の鮮やかな彩り、四季折々で地域の景観であり続ける「農産物」と、それを生み出す「農業者」たちをシリーズで紹介していく。

【農産物】イチゴ

乙部町 姫川

林 義 秀さん(72)

久美子さん(63)

乙部町特産のイチゴは、甘みが強く、一口で頬ばれないほど大きいのが自慢。ひと口かじる度に、甘酸っぱいイチゴの香りがはじける。旬は4月下旬から5月ころまでで、ハウスの中では真っ赤に熟したイチゴが並ぶ。赤く色づくのは、抗酸化物質のアントシアニン色素が豊富に含まれているため。他にもビタミンCなども多く、おいしいだけでなく健康にも良いのがうれしい。

乙部町でイチゴ栽培が始まったのは昭和50年代のこと。当時はユリ根の産地として有名で関西各地に出荷していたが、連作障害により栽培が難しくなっていた。そこで替わりの作物として選ばれたのがイチゴだった。春先の収入を確保できるのが強みだ。

乙部町の林義秀さん、久美子さんご夫婦も農業改良普及センターに勧められ、昭和59年に栽培を始めた。30年経った現在ではハウス4棟で作付しており、アスパラやブロッコリーと並ぶ経営の柱になっている。

『『苗半作』の言葉どおり、苗づくりが何より重要』と林さん。実際、3年がかりのイチゴ栽培のうち2年を育苗に費やす。1年目に親苗を植えると、2年目に親株からランナー（匍匐茎）が伸び、そこから子株ができて定植を行う。3年目、子株が育ち、ようやく果実を結ぶ。「長い期間がかかる分、愛着がわく」と、生長の様子に一喜一憂する毎日だ。

長年、生産部会長を務めるなど地域のリーダー役を担い、現在でも町



夫婦で協力して作業に励む。2人していると話が絶えない。



①親株(左)から伸びた小さなランナー(右)から、翌年に芽が出て生長し実を結ぶ。②ハウスには1000匹のハチが放され、花から花へ飛びまわって受粉している。③大きく柔らかい実を傷つけないよう、丁寧にもぎ取って収穫する。④収穫したイチゴは、大ききで分けてひとつひとつパック詰めする。ここでも、傷つかないように細心の注意を払う。

えすぽわーる

NO.154／2015年6月号

CONTENTS

- ② 道南を農す
- ④ **特集** 組合員組織直営！
産直市スタート
- ⑥ 協同の力
- ⑦ 新婚さんハッピートーク
～ゴール&スタート～
- ⑧ トピックス
「TPP交渉の国会決議堅持を訴え」他
- ⑪ Focus the JOB
～JAの仕事を紹介します～
- ⑫ 組合員懇談会要約
- ⑮ あぐりレッスン
- ⑮ 地産地食図鑑



新風景看

第3面
～厚沢部町～

大きな「おらいもくん」が目印のこの看板は、厚沢部町と江差町のあいだ、国道227号線沿いに立っています。南桧山で生産される野菜たちも大きく描かれているので、通りかかった際にはぜひ注目してみてください。



議会議員としても活躍している。そんな林さんの一番の楽しみは、岩見沢に住むお孫さん。帰省してはイチゴを食べて「おいしい」と喜んでくれる。「孫娘の笑顔を見ることが、めにもがんばりたい」と、齢七十を数えますます意気盛んだ。

組合員組織直営！産直市スタート

5月に入り、産直市がJ A管内各地で始まっています。地元産の新鮮な農作物が格安で買えるとあって、地域から大人気。地産地消だけでなく、地域住民や組合員同士の交流にもつながっています。今回は組合員組織が運営する4ヶ所の産直市をご紹介します。

きこりろ

木古内支店女性部 直売所運営グループ



6月下旬から週6日オープンする、品ぞろえが自慢のお店

新幹線開業を控えた木古内駅の目の前、木古内支店の横にあるプレハブの簡易店舗です。店内には冷蔵庫が設置されていて、野菜だけでなくブランド牛「はこだて和牛」も売っています。また、ジャムやみそなどの加工品、ふっくりんこなども置いていて、品ぞろえが豊富です。

今年は5月9日に営業をスタート。開店を待ちわびた地元住民の方など約100名が訪れました。新鮮な農作物を次々と買い求め、レジには長い列ができていました。今年は天候が暖かく推移したので、ブロッコリーなどの新物野菜や山菜が充実していました。



代表の声

林 香葉さん(左)、森永 尚美さん(右)「週6日の営業は大変ですが、木古内を盛り上げるために頑張っています」

営業情報



- 営業日: 5月～6月下旬の毎週日・火・木・土曜日
6月下旬～11月の毎週月曜日以外
- 営業時間: 午前9時30分～
- 場所: 木古内町字本町545-1

湯川朝市

函館支店女性部



タマフクラ豆腐にスタンプラリー、工夫がいっぱいの朝市

函館支店隣の倉庫で、毎週土曜の早朝から開かれる産直市です。こちらの名物はなんといっても「タマフクラ豆腐」。毎月第1土曜日限定で、販売を始めるとすぐに売り切れてしまう人気商品です。スタンプラリーも行っていて、10月24日に野菜などの景品が当たります。

5月2日に今年の営業をスタート。アスパラやホウレン草などの野菜、花、昨年から始めた赤カブの丸漬けなど、さまざまな農作物が並びました。開場前には約70名の地域住民が行列をつくり、朝市が始まると品物はまたたく間に売り切れていきました。



代表の声

鮫川 初江子さん「地域の方々と部員同士の交流の場にもなっていて、大切な場所です。部員一同、楽しみながらやっています」

営業情報



- 営業日: 5月～10月の毎週土曜日
- 営業時間: 7時45分～9時00分
- 場所: 函館市湯川町3丁目 函館支店倉庫前



濁川温泉市

森町トマト生産振興協議会 女性部



温泉熱で育った野菜が たくさん並びます

豊富な湯量の温泉を活用した促成栽培は、言わずと知れた濁川地区の代名詞です。早出しのトマトが有名ですが、他にもさまざまな作物を促成栽培しています。5月3日のオープン初日には、キュウリ、キャベツ、レタス、カブ・・・など20品目以上の野菜が早くも並んでいました。真っ赤に熟したトマトは、4kg詰め箱で買う方も多数いました。

当日は、先着100名の方に花をプレゼントしたりスタンプラリーを行ったりと、お客さんを喜ばせる工夫も盛りだくさん。函館市内から足を運ぶ方もいて、買い物カゴいっぱい農作物を買い込んでいました。



代表の声

伊藤 則子さん「お客さんから『新鮮で美味しい』と喜んでもらえる時や、遠方から来てくれる方がいることが嬉しいです」

営業情報



- 営業日: 5月～6月の毎週日曜日
- 営業時間: 午後2時～午後6時
- 場所: 森町濁川 濁川郵便局付近

長万部土曜市

長万部町畑作生産組合



今年から「あつまんべ」に移転してスタート

畑作生産組合の設立と同時に始められた土曜市は今年で17年目を数え、地域の恒例行事として定着しています。今回から場所を移し、昨年12月に落成したばかりの多目的センター「あつまんべ」での開催となりました。

初日となる5月9日は場所に不慣れで戸惑いながらのスタートとなりましたが、出足は好調。約100名の地域住民が地元の農作物を求めて集まりました。15名ほどの生産者が採れたてのアスパラやホウレン草、レタス、花などの農作物を並べると、すぐに来場客が殺到。15分ほどで次々と売り切れていきました。



代表の声

三原 智さん「地域から愛されて、17年間続けてこられました。これからもお客さんに喜んでもらえるよう、野菜を提供していきたいです」

営業情報



- 営業日: 5月～11月中旬の毎週土曜日
- 営業時間: 午後2時～
- 場所: 長万部町字長万部36-2 多目的活動センター「あつまんべ」

作付面積を維持しながら、経費節減・品質向上を目指す

七飯町米生産出荷組合 設立1996年、部会員144人

米の作付に当たっては、これまで、どのような経過がありましたか？

杉村副組合長 七飯地区では米の作付面積自体が少ないため、水田主体と畑作主体で完全に両極端に分かれている。減反政策が始まる前には米専業でも経営できていたが、減反政策が始まってからは米の作付面積が少ない人は畑作や施設園芸に転換し、そちらをメインにした経営に変化してきた。今は販売目的ではなく、自家用として栽培している農家も多くなってきた。

中田組合長

15年くらい前までが米の作付のピーク。それ以降は人参や大根などの野菜に転換が進んでおり、米を専業としている農家は少なくなった。今後、米の価格が下落し、経費が上がってくるとますます作付面積は減ると思われる。TPPなど色々と情勢も変化している中で、ここ1、2年で分岐点を訪れるのではないだろうか。

池田副組合長

過去には、大沼地区では米と畜産の両方をやっており、

米の稲わらを畜産で二次活用することもあったが、今はそれも無くなった。

米組合として今後、期待していることは？

杉村副組合長

作付面積を維持していくためには、年々、組合員数の減少・高齢化が進む中で省力化や経費削減に繋がる新しい栽培技術が出てきて欲しいと思う。

中田組合長

現状の米の需給調整や経営支援対策は農家にとってあまりプラスとなるものではないので、今後の米の作付面積を維持していく為にも、価格安定政策などの米の作付面積維持にプラスとなる政策が出てきて欲しいと思う。

米組合で課題としていることなど、どのような事がありますか？

杉村副組合長

最近では資材や肥料などの価格が年々高くなってきたり、経費が増えてきている。そして昨年は、収量は良かったが品質

の低下により米の収入が大幅に減少したので、作付面積減少も懸念される。組合としても米の作付面積の維持は課題の一つである。

池田副組合長

経費削減が当面の目標。経費削減方法としては、他の地区でも実施している直播栽培がある。直播栽培であれば育苗管理が必要ないので労働力の削減もでき、ハウスの空いたところへ作物を作付することで、収入増も見込める。しかし、七飯支店で直播栽培は推奨しているが、組織を作り機械を購入してまでやろうという人は今のところはいない。

中田組合長

収量の増加も重要ではあるが、今は経費を抑えて、米を作る事を意識している。その他、収量をあげたとしても品質が悪ければ価格も下がり収益が減るので、品質を良くして少しでも多く収益の出る米作りを組織として取組んでいきたい。

取材 七飯支店 浅野 友美子



杉村久悦 副組合長(63)

中田優司 組合長(62)

池田泰久 副組合長(56)

新婚さん! ハッピートーク ゴール&スタート

vol.3

結婚というゴールを迎え、新たな人生をスタートさせた二人の出会いから交際、結婚にいたるまでの経過を紹介していく

せたな町 北檜山区 米
犬塚 良明さん (35 歳)
真純さん (21 歳)



【写真上】代掻きを終えたばかりの田んぼのゴミ取り作業をする良明さん

【写真左】ハウス内にて良明さん(左)、真純さん(右)、颯良(そら)くんの家族三人で。

遠距離交際の期間も経て、結婚

●二人の出会い●

犬塚良明さんと真純(ますみ)さんは初めて出会った記念日でもある平成26年4月2日に入籍した。

二人の出会いには良明さんが神奈川県の飲食店で働いていた頃、お互いの友人数名と遊んでいた時。初めてのお互いの印象を良明さんは「真面目そうで、年齢の割には落ち着いたら人、真純さんは「遊んでいそうな人」と語る。その後、二人だけで遊ぶ機会も増え、真純さんの真面目な性格に良明さんが惹かれ、告白。交際がスタートした。

●交際期間中●

約3年間の交際期間中は、様々な場所に出かけて二人の仲を深めていった。順調に交際を続けていた中、良明さんが急遽、実家に戻り農家を継ぐことが決まった。神奈川に居られる時間も残りわずかであったことから、意を決しプロポーズ。真純さんは迷わず受け入れた。真純さんは「一緒に北海道へ行くことも聞いてビックリした」とその時の気持ちを振り返る。プロポーズ後、良明さんはせたな町の実家に戻り、結婚までの約一年間は北海道と神奈川での遠距離交際となった。その間、真純さんは良明さんの実家を何度か訪れ、北海道での生活の不安を一つひとつ解消していった。

●これから●

現在は、米とミニトマトを作付。良明さんは今後、栽培を始めたばかりのミニトマトを軌道に乗せていきたいと意気込んでいる。真純さんは現在、昨年12月に産まれた颯良(そら)くんの子育ての合間に良明さんの仕事も手伝っており、「夏場は忙しくて旅行など出来ないが、冬場の農閑期には家族旅行や実家へ帰省もしたい」と話す。

最後に良明さんは、「どんなに疲れていても、子供を見ていると疲れも一気に吹っ飛びます」と笑顔で話してくれた。

〈取材 若松支店 鳥倉 健太〉

TPP交渉の国会決議堅持を訴え

北海道緊急要請集会に参加



国会決議堅持を求めデモ行進する当ＪＡ役職員ら



ガンバロウ三唱をする畠山組合長(左)ら

「ＴＰＰ交渉の国会決議堅持を求める北海道緊急要請集会（実行委員会主催）」が５月１６日、札幌市で開かれた。道内各地から農林水産業関係者ら６５０名が集まり、当ＪＡからは畠山組合長、輪島専務、西村常務など６名の役職員が参加した。

集会では、北海道中央会の飛田会長が「政府が国会決議を踏みにじて、なし崩し的に大筋合意に突き進むことを絶対に認める訳にはいかない」と意見表明。

農林水産業の代表者も壇上に立ち、政府に国会決議の遵守を強く求めていくと演説した。各政党からは国会議員が出席し、国会決議の遵守に向けた意志を示した。しめくりに、ＪＡ北海道青年部協議会の齊藤和弘会長が「ふるさとや地域を守るために心を合わせたい」と呼びかけ、ガンバロウ三唱を行った。その後、札幌市内でデモ行進し、ＴＰＰ交渉の国会決議堅持を広く呼びかけた。

満開の桜のもとで野菜を販売 知内町で第２４回さくらまつり



◀ たくさんの方々が「北の華」を買い求め

当ＪＡは大型連休中の５月２～３日、知内町役場前で開かれた「第２４回さくらまつり青空市」に出店した。知内支店女性部員と同支店職員は、屋台で農作物や加工品、串焼きを販売した。

当日は満開の桜と好天に恵まれ、多くの地域住民が来場した。特産のニラ「北の華」やウド、原木しいたけといった地場産の野菜や、女性部で手づくりした漬物やべこもちなどの加工品を次々に買い求めていった。

来場客数は屋前にピークに達し、「はこだて和牛」や「元気ソーセージ」などの串焼きは昼過ぎに完売するほどの人気となった。

濁川産トマトに長蛇の列 楽市楽座もりまち食ＫＩＮＧ市



◀ 濁川産トマトを求めて長蛇の列ができた

森町で５月３日に今年初めての「楽市楽座もりまち食ＫＩＮＧ市」が開かれ、森支店が出店して地元産の野菜を販売した。会場には大勢の来場客が詰めかけ、長い列をなす人気となった。

同イベントは毎年５月から１１月までの奇数月に開かれており、今年で５周年を迎える恒例行事。町内からさまざまな出店が集まる。ＪＡでは今回、温泉熱を利用して促成栽培された濁川産トマトが早くも並んだほか、キュウリなどの野菜を格安で販売した。

販売を担当した同支店資材課の寺田勝彦課長は「たくさんの方々に野菜を買ってもらえてありがたい。これを機に地元の味に親しんでくれれば」と話した。

酪農家のもとで5日間の農業体験学習

とわの森三愛高校が「道南特別実習」



和やかな雰囲気の中笑顔で実習が進んだ



受入式で礼儀正しく挨拶する生徒(左)

とわの森三愛高校アグリクリエイト科機農コースの生徒24名は4月27日から5月1日までの5日間、「道南特別実習」を行った。本実習は道南の酪農家における生産・技術・経営・生活を通して、酪農経営に関する生産技術及び経営管理の基本を総合的に習得すると共に、農業・農村に対する理解を深めることを目的に、実際に農作業を体験するもの。

今回の実習は八雲・今金・せたなの3町で実施され、この内八雲町では8名が実習を行った。初日には八雲

支店で受入式が開かれ、生徒が6戸の受入先農家と対面し「この実習で酪農の事を多く学び、今後の学校生活や卒業後にいかしたい」と挨拶。

その後、生徒たちはそれぞれの実習先に分かれ、餌やりや搾乳、牛舎の清掃などに取り組んだ。作業を終えて「学校で酪農に関して多くを勉強したが、実際に作業を体験し、大変さを感じた。今回の実習はとてもいい経験となった」と感想を話した。

北斗市の函館育ち長ネギ・軟白ネギをPR HBCテレビ「森崎博之のあぐり王国北海道」



撮影:HBC

◀記念撮影する森崎さんら出演者と生産者、JA職員

5月30日に放送されたHBCテレビの「森崎博之のあぐり王国北海道」にて、北斗市の長ネギが紹介された。今回のテーマは「通年の料理に欠かせない名わき役“ネギ”を知ろう!」。産地には新幹線開業を控えて盛りあがる同市が選ばれた。森崎さんら出演者が農家を訪れ、農作業や料理を体験した。

生産者紹介では外山正彦さんが長ネギを、坂本幸治さんが軟白ネギをそれぞれ紹介し、子供たちと農作業体験を行った。料理コーナーでは大野支店女性部の山上部長が出演し、3種類の切り方で新食感を楽しめる天ぷらを作った。終わりに大野支店職員が同市の農業とJAについてPRした。

オリジナルの新メニューを販売 北斗桜回廊にあぐりへい屋が出店



◀家族連れで楽しむ来場客

農産直売所あぐりへい屋と大野支店は5月2日、北斗市で開かれたイベント「北斗桜回廊」に出店した。この日のために開発された新メニューを販売し、訪れた市民から人気を集めていた。

販売したのは、同市産イチゴを練りこんだ餡をのせた「苺あん団子」、焙煎したふっくりんこを加えた茶葉「お米地茶」、見た目にも鮮やかな「3色おいなり」など、地元の農作物を使った食品。また、ポップコーンやからあげといった定番の品も用意した。

当日は晴天に誘われて、家族連れを中心に多くの市民が来場。屋ころを中心、次々と地元の味覚を買い求めていた。

無事な生育を願って放牧 木古内町で入牧はじまる



◀ ちからいっぱい牛を牽引する職員

当ＪＡが管理する木古内町の南渡島地区家畜育成牧場で５月１１日、牛の入牧が始まった。木古内・知内両町の酪農・畜産農家２１戸からホルスタインや褐毛・黒毛和種など１２８頭を受け入れた。今年は雪解けが早く気温も高く推移したため、昨年より１０日早い入牧となった。

当日はＪＡのほか、町役場など関係機関の職員が協力して、搬入された牛を牽引。寄生虫駆除剤を塗布し、育成牛・授精牛・妊娠牛の３牧区に分けて放牧した。

南渡島地区家畜育成牧場運営委員会の岸智美委員長は「今年も病気がケガなく、無事に預託者のもとへ帰せるよう、半年間しっかりと管理したい」と話した。

活動を通して部員間の絆を深める 七飯青年部が保育園児に農業体験学習



◀ 青年部員の説明を熱心に聞く園児たち

七飯基幹支店地区青年部は５月２７日、自ら管理する青年部鳴川圃場に大中山保育所の園児３９名を招いて農業体験学習を開催した。この日は１０名の部員が農作業の合間を縫って参加し、マリーゴールドの苗とトウモロコシ、ヒマワリの種を用意し、植え方を丁寧に説明しながら、園児と作業に励んだ。

同青年部の荒木清貴部長（３３）は「子どもたちに農作業を体験してもらうことはもちろん、農作業が忙しく普段は会えない部員同士の絆を深める場にもなっている。子どもたちだけでなく、私達にとっても価値のある活動なので、これからも続けていきたい」と話した。

育成牧場で入牧始まる 八雲町の乳牛育成牧場



◀ ケージの中に入り測定を待つ牛

八雲町の乳牛育成牧場で５月１９日、牛の入牧作業が始まった。町内の酪農畜産農家１８戸から、ホルスタイン種・ジャージー種の乳用牛や肉用黒毛和種など２８１頭を受け入れた。昨年より３日早い作業となり、同町農林課の荻本正課長補佐は「今年は雪解けが早く牧草の生育は順調で、近年にない良い出来」と話す。

当ＪＡのほか町・農業改良普及センター・ＮＯＳＡ職員ら関係者が標識番号を確認しながら乳牛の様態観察・体重測定・写真撮影を行い、寄生虫駆除剤の投布後、体重別に３０～５０頭の集団に分けて牧草地に放した。１０月末まで牧場で過ごし、半年間で１５０kgの増体を見込む。

関係機関と協力し入牧スタート せたな町営牧場で入牧



◀ 関係職員が誘導しながら放牧した

５月２１日から２２日、せたな町が管理する山越・小川の２地区の町営牧場で入牧が行われた。町内の酪農・畜産農家が飼養する黒毛和種１４頭と乳用種２０９頭の牛を放牧した。せたな町内のＪＡ職員とせたな町産業振興課職員など、各関係機関の職員が協力し、２日間にわたり作業を行った。

若松支店畜産課の中島賢哉課長は「関係機関の皆様の協力もあり、今年も無事に入牧が終わった。無事故で退牧をむかえたい。」とコメントした。今回放牧した牛は、１０月下旬まで牧場内で育成する予定となっている。

今回は信用共済部。



組合員宅で実際に共済推進しながら、新人LA職員を指導する小澤主査



信用共済部がある本店事務所

「便利」と「安心」をお届けします！

信用共済部は、北斗市本町の太野支店金融店舗に隣接した事務所1階にあり、金融課・資金運用課・融資課・審査課・共済課の5課と自動車サービスセンター（SC）から構成されています。

金融課では、各種貯金商品の企画・立案や各支店の業務サポートを行っています。資金運用課では、系統への預け入れや安全性を重視した有価証券への運用を行っています。融資課ではキャンペーンの企画・立案や住宅ローンをメインとした営業を行っています。審査課では、大口融資案件の審査や自己査定業務の支店サポートを行っています。共済課では、LA職員や窓口職員のスキルアップ指導などを行っています。自動車サービスセンターでは、JAの自動車共済加入者が事故を起こした場合の事故処理を行っています。

組合員の皆様に便利と安心をお届けする為に、信用共済部一丸となって頑張っていきます。

【連絡先】 北斗市本町 1 丁目 1-21
TEL : 0138-77-5552 (金融課)
FAX : 0138-77-5565

TEL : 0138-77-9823 (自動車サービスセンター)
FAX : 0138-77-9824

組合員懇談会開催 結果報告(要約版)

◆開催期間：平成27年4月1日(水)～4月3日(金)

◆開催状況：12地区・8会場で開催

◆出席状況：対象者数2,401人、出席者数213、
出席率8.9%

※ 要約版でありますことを予めご了承ください。

◇…JAからの回答

【総務部門】

1. 今回の役員改選の意図がわからない。組合員の意思とは関係ないところで選任されたと感じられる。

◇ 理事については、若い世代、人材を登用することも一つの目的として、推薦制を導入しており、区域によって新任役員が誕生出来ましたので、業務執行する上で成果はあったと感じています。

2. 役員選任方法について、区域総代を集めて推薦委員を決めたと言っています。役員を選出する権利は我々組合員にはないのでしょうか。役員を推薦するまでの過程に

ついて説明願いたい。

◇ 今回からの完全推薦制に伴い、区域総代協議会を開催して、区域役員推薦委員を決定後、選任方法等について協議を行い、区域役員推薦委員会で役員候補者を選出しております。各区域からの推薦に基づき、役員推薦会議で役員候補者を決定して理事会、総代会に提案した経過であります。

組合員の代表である総代から推薦委員を選出しており、地域の代表として信頼できる推薦委員を選んで頂ければ、組合員の意見が反映できる選任が可能であり、全く権利がないということではありません。

3. 役員選任方法については、立候補制もあると思われる。立候補するにしても、何人かの推薦人をつける等、ある程度対策を講じて対処する方法があるのではないかと思う。

◇ この件については今後、相談・検討させて頂きましようお願い致します。農協改革でも、現状の役員体制が維持できるかどうか見通しが立たない状況です。今後、様々な議論、制約が出てきますので、その時点でもう一度整理し、ご相談したいと考えています。

4. 今回推薦された役員は組合員の総意で選ばれており、地域から応援があり期待されます。しかし、

現状は地区運営委員長に権限がなく、委員会もただの報告会になっています。今後地域のためにある程度の権限が必要であり、地域を元気にするためには変えて行かなければだめだと思います。

◇ ご意見として前向きに協議・検討してまいります。

5. 他企業では管理職に女性の登用が進んでいるが、JAはどうなっているか。

◇ 他のJA組織と比較すると当JAについては、女性管理者は多い方だと思っております。今後も男女に関係無く、優秀な人材を管理職に登用してまいります。

6. 一般企業は信用度、経験値が重視されており、そのための教育計画を作っていますので、JAも参考にして作った方が良いのではないですか。

◇ 当JAでは、トータル人事管理システムとして必要な教育研修を行い、業務に必須となる資格取得を精励しています。

昨年、人材育成基本方針を策定しており、職員教育の充実と適正な人事ローテーションを実践してまいります。

7. 各支店別収支については、次年度には支店毎の収支が明確に分かるように表示して頂きたい。今後、赤字部門の対策を打つためにも必

要と考える。

◇ 新執行体制の理事会において、支店別の損益計算書について充分協議・検討して判断させて頂きます。

8. 合併後のJAを検証(組合員へのアンケート調査実施)して貰いたいと言ったはずでしたが、どのように進んでいますか。

◇ 次期中期計画を翌年に作成する予定であり、アンケートは今年の内、理事会に諮り、12月1月に案内したいと考えています。前回は回収率が低かったため、その反省を活かしたいと考えています。

9. 農協改革で、准組合員数の増加が問題視されています。5年後どう変わるかわかりませんが、准組合員の利用規制が行われたとき、このまま進んで行って見通しとして大丈夫なのか。

◇ 准組合員が多いのは組織としていかがなものかと国は言います。農協改革やTTPは信用・共済事業にメスを入れるのが政府の本音のようです。

組合員数が減少していく中、どこで事業拡大を求めるかは、准組合員の利用限度の拡大をしていく方向で進まない事業が衰退します。今はまだ不透明ではありますが、今後の動向を注視しながら、関係機関の指導等も踏まえ見極めていきたいと考えております。

その一環として、准組合員にJAをPRし業務をお知らせするために、今年度、准組合員向け広報誌の発行をいたします。准組合員を増加させ、どうしても准組合員制度が必要であることの認識運動を高めてまいります。

10. 農協改革で、外部監査に変わった場合、JAとしてどのような影響があるのか。

◇ 詳細は試算していませんが、公認会計士監査は報酬が高いため、監査費用が上がるのが想定されます。今後、全中が一般社団法人に移行する平成31年3月末までは、双方の選択性となる見通しですが、中央会監査と違い、会計監査の実施で業務監査がなくなることになります。

11. 総務部基本方針の中で、「女性農業者のJA運営参画促進運動方針に基づき」と掲げているが、どのような促進方法を考えているのか。

◇ 昨年度、女性農業者のJA運営参画基本方針を策定していますが、今年度は女性正組合員の加入を進めたいと考えております。その中で将来的に平成30年の改選時期に女性役員を登用したい考えがあります。常勤役員との意見交換会や勉強会等も活発化させていきながら、平成29年の総代選挙では地区内の女性総代も作り上げていくこ

とを段階的に行いたいと考えております。

【信用共済部門】

1. 有価証券運用は事業報告書にどのように記載されているか。

◇ 損益計算書の中で有価証券利息17,012千円、その他事業直接収益132,385千円として売買取益を表示しています。相場を勘案し、期末までにすべて売却したこと、残高はありません。

2. 余裕金運用は、専門担当者にて高利回りの運用は出来ないか。

◇ 専門担当者を配置しており、安全性と流動性を重視し、国債を中心に運用しております。

【農業振興部門】

1. 先般、酪農部会で要望した経過にあります、平成27年度の予算として搾乳頭数減少に対する対策を早急に対応して頂きたい。地域振興費での対策では各支店での酪農部門ポリシーームの違いにより振興費の貼り方も違うと思うことから、生産者全体の取組みと考え受胎率向上も含めて早急に実現に向けて検討して頂きたい。

◇ 支店によっては、後継牛を残す為、雌雄判別・受精卵の対策を地

域振興費で対応しております。当地区においても振興費での対策を検討し、運営委員会で諮って頂きたい。酪畜の規模で振興費の配分が違ふという点については、地区の運営委員会において振興策を決めた上での話ですから酪畜がおそろかにされている訳ではありません。

2. 生産資材も燃料も値上がりしている中で、売り上げが減少しているのは、JA離れが進んでいるのではないかとJAもPRを工夫したかどうか。

◇ 早期の取りまとめ等、供給額を伸ばすためにいろいろ工夫しながら対応しているのでご理解願います。

3. 大口購買奨励金について500万円で頭打ちとなるのはなぜなのか。

◇ 取引金額が高くなると率(%)が上がるということもご理解願います。

4. 剰余金処分案の事業分量配当金が昨年6,600万円よりも減っている理由は。

◇ 今年度は配当分を供給価格に折込んだ形で計上しております。

5. 平成27年度事業計画のうち、酪農畜産の計画額が昨年度より下回っている理由は何か。

◇ 平成26年度は、乳価の上げと

肉用牛の個体販売高値により102億4千万円の実績となりました。本年度についても、販売単価が特別下がる要因はありませんが、生産量も若干減少傾向のため、堅実な計画額設定となっております。

（以下要望）

6. 農協の草地事業と同じように、組合員が上手く使えるような事業を整理しながら、酪農部会も具体的な要望も挙げますので一緒に真剣に考えて頂きたい。

7. 農協は営農指導が大切だと思うが、営農課の体制がしつかりしていない。大事な部署の人員が不足しているのだから考えてもらいたい。

8. 酪農専門職員の後継者が、ここ何年間変わっている。いろんな案件で配置転換はするとは思いますが、酪農専門職として中長期的に職員を育成して頂きたい。

【生産販売部門】

1. 生産販売部門の職員に対しマーケティング教育を強く進めてほしい。

◇ 販売対応力強化のため、直接、量販店等の売場に出向き、状況把握や担当バイヤーと商談、企画等も提案しながら対応しております。

2. 当JAは野菜や酪畜等、幅広い経営形態のため、もつと海外へ目を向けても良いのではないかと。

◇ 海外取引は単協レベルではなく、系統を利用した中で進める必要があります。組合員も団結して系統利用を進めることにより系統を動かす事が出来ると考えております。

3. 平成30年に減反政策が終了するが、このことに関して新たな情報はないか。

◇ 飼料米の取組についても生産調整最終年となる平成29年度まで維持するよう農政事務所に要請しておりますが、明確な回答は得られていません。

4. 米価のナラシ対策の情報はないか。

◇ 青死米の混入率によって、ナラシ対策の交付金額が変動します。3月末迄の販売価格が決定後、算定され、国より発表され次第お示し致します。

5. 飼料米の販売先は確保しているのか。

◇ 現在、道内10数箇所の飼料米加工工場に年間7万トン近い供給実績があり、十分販売は可能であり、優先的に引取りして頂ける販売先に絞っています。その中で運賃を含めて引き取りできる業者と交渉中です。

6. 飼料米の保管体制について。

◇ 先ずは主食米を保管し、引取りの状況に合わせ飼料米の受入態勢を整えます。本年ライスターミナル敷地内に農業倉庫を新設することから、支店倉庫に飼料米の受入可能な体制整備に努めます。

7. 飼料米販売に関する経費はどうなるのか。

◇ 販売価格は1俵あたり1,200円、1,500円を想定しております。保管料・運賃等を控除した場合、0円に近い価格になっています。飼料米からの手取りは期待出来ませんが極力経費を抑える販売に努めます。

8. ふっくりんこが特Aになったことで、大変喜ばしいことであるが、本年産米の販売戦略等をどの様に考えているのか。

◇ 特Aについては毎年審査があることから、生産者の方には引き続き良食味米の取組みをお願い致します。現在、ふっくりんこは、東京・関西方面では非常に引き合いが強く、特A効果が現れております。北海道では、ななつぼしとゆめぴりかも特Aで、都道府県の中で特A銘柄の地域は北海道だけでありまして、特A効果を全面に出して販売し、特Aを継続していけるような技術対策も含め取り

組んでまいります。

9. ライスターミナル敷地内に新設する低温倉庫の規模は。

◇ 面積約320坪、俵数で39,000俵程入る倉庫であり、逼迫した倉庫事情の改善に向け有効活用してまいります。

10. 年々、小麦の面積が増加する中、JAとして施設に投資する意欲があるのか。

◇ 麦は国の政策により左右される懸念があることから、直ちに倉庫新設とはなりません。逼迫している倉庫事情の解消と輸送コスト低減に向け、慎重に対応してまいります。

11. 共選施設を行政に頼るのではなく、販売の根幹は共選共販であり、JAが中心となり共選施設をしつかり整備しブランド力を高めて頂きたい。

◇ 広域農協のため、地区により経営形態が違います。野菜地帯だけ共選施設を新築していくことは理解されないことから、今後も組合員の負担軽減の為に行政へ支援要請しながら進めてまいります。

12. 施設の老朽化が進んでいるが、JAとしてどう考えているのか。過去の懇談会でも同じ質問をしたが同じ回答を受けており、生産者の

のことを考えていないのではないかと。

◇ 中期経営計画の中で更新投資の優先順位を付けながら整備を進めています。基本的には広域的に利用可能な物から整備を進めています。組合員の利便性を考えながら対応し、今後の農業情勢の推移なども検討し長期的な展望を持って進めてまいります。

施設は長期的に使用するため、今後の作付計画など組合員とのコミュニケーションをとり、将来構想を描きながら進めてまいります。

（以下要望）

13. 人口減少が進んでいる中で、農業人口も減少しているので、施設導入は慎重に行ってもらいたい。

【(有)新はこだて協同】

1. 地区懇談会でガソリンの店頭価格が盆地と郡部で差があると意見が出されて、その後理事会等で協議していたらお知らせ願いたい。

◇ 地区懇談会で出た意見は、必ず直近の理事会で報告して役員の意見をいただいております。理事会等協議の内容は、営農用灯油・営農用軽油は全支店同一価格で提供しておりますが、ガソリンについては地域市況に合わせた価格で提供させていただいております。

【定植前】

1 ほ場の準備

- ①事前に土壌診断を行い、タンカル等でpHを6.0～6.5になるように矯正し、作物に応じた適正施肥を行う。
- ②定植後の干ばつを避けるため定植直前に整地し、土壌水分が十分ある状態で定植する。
ただし、過剰な水分状態での耕起は避ける。
- ③マルチは定植1週間前に設置し、地温を高めておく。

2 苗の管理

- ①定植1週間前頃からかん水を控え、昼夜間ともにハウスを開放し外気温に近づけ、苗を馴化させる。
- ②定植苗の葉色が淡い場合は、液肥などで追肥を行う。
- ③定植直後の病虫害対策として、定植前に育苗かん注防除を行い、病虫害の被害を予防する。

【定植時】

- ①各作物の適期に苗を定植する。特に、セル成形苗は定植適期を逃して老化苗にしないように注意する(写真1)。
- ②定植前日または定植日の朝に十分かん水を行う。
- ③定植時は特に土壌水分と地温・気温を確認し、天気の良い日に定植を行う。

【定植後】

- ①活着不良はその後の生育に影響を及ぼすので、ほ場が乾燥している場合はかん水を行う。
- ②排水不良のほ場では、明渠を掘るなどして表面排水を促し、排水改善を行う(写真2)。



写真1 ねぎの定植適期苗
(チェーンポット育苗)



写真2 ねぎほ場での排水改善例
(培土溝と明渠を連結)

▶ 理事会開催報告

第5回 理事会(定例)

日時:平成27年5月15日(金) 午前10:30～ 場所:北斗市総合分庁舎

- | | |
|---|---|
| <p>議案</p> <p>1号 非常勤理事の職務代行順位について</p> <p>2号 農業委員の推薦について</p> <p>3号 ディスクロージャー誌の発行について</p> <p>4号 平成27年度コンプライアンス・プログラムの設定について</p> <p>5号 回転出資金の出資への振替について</p> <p>6号 基幹支店規程の一部変更について</p> <p>7号 職制規程の一部変更について</p> <p>8号 余剰金運用規程の一部変更について</p> | <p>9号 平成27年産米穀出荷契約金の設定について</p> <p>10号 平成27年度営農販売事業における料金・料率の改訂について</p> <p>11号 農業基盤整備促進事業の取り組みについて</p> <p>12号 職員への夏期手当の支給について</p> <p>13号 函館育ち広域農業協同組合連合会役員候補者の推薦について</p> <p>14号 理事への貸付について</p> |
|---|---|

JA新はこだて

夏の貯金キャンペーン

対 象 定期貯金新規お預入れ
及び増額書替
(ともに10万円以上)のお客様

キャンペーン期間 6/1月 ⇒ 8/31月

ご契約のお客様にすてきなプレゼント



キャンペーン
ご契約のお客様に
**ちょリス
ホッラキス**
先着全店合計1,200個限り

1年 定期 年 **0.10%**

3年 定期 年 **0.20%**

5年 定期 年 **0.30%**

さらに
100万円
以上の
貯金で



今回は 大野基幹支店から
農協のトマトカレー



大野支店
貯金課 岸 詩花



JA新はこだて

表示有効期限:平成27年8月31日

新JA配置薬推進員が着任 大野・七飯・函館地区

大野・七飯・函館地区を担当する専任の推進員が長らく不在となっていました。が、今月より 山下 奈奈 推進員が着任することとなりました。今後も皆さまのご要望に応えられるよう努力してまいりますので、JA配置薬への一層のご愛顧をお願い申し上げます。



【大野・七飯・函館地区 JA配置薬推進員】

山下 奈奈 (やました なな)

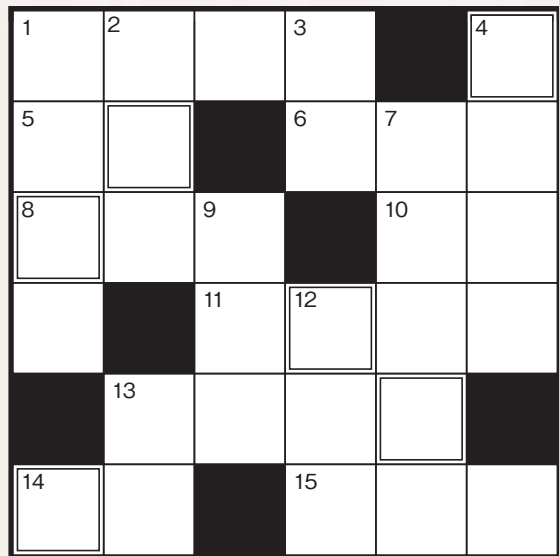
函館市在住 TEL: 090-6444-0453

JA北海道厚生連 配置薬部 配置薬課

フリーコール (0120) - 99 - 4193

※平日8:30～17:00

みんなのまるめ即広場



キーワードヒント

北海道は運動会の季節ですね。

あて先 クイズ&投稿のあて先は郵送がFAXまたはメール（ホームページのメールフォームでも送れます）でクイズの他、子供の写真やイラスト、日頃の出来事、広報誌に対するご意見・ご要望もお寄せ下さい。

〒041-1201 北斗市本町1丁目1番21号

JA新はこだて企画室 FAX:0138-77-5566

✉E-mailアドレス shinya.toda@ja-shinhakodate.com

プレゼント クイズの正解者の中から抽選で **3** 名様に

農協ラーメン

(2食入り)

2袋をプレゼント!

どんどん投稿してね!



クロスワードクイズ

二重マスの文字を並べてできる言葉は何でしょうか?
中には今月号のえすぽわーにヒントのカギがあるかも。

タテのカギ

- 1 国会では大臣が、テレビでは芸人が。
- 2 踊りだけど、ここに入るのはダンスじゃないよ。「フラ〇〇〇」
- 3 美濃の無形文化遺産といえよ。
- 4 ドローンは〇〇〇〇操作できる話題の小型無人機。
- 7 「長万部土曜市」の開催場所は、今回からココになりました。
- 9 ヨル〇〇〇、ブラ〇〇〇、〇〇〇倶楽部。
- 12 厚沢部にある町の名前です。
- 13 小さいという意味。〇〇サイズ。

ヨコのカギ

- 1 今回の「道南を農す」は、乙部町〇〇〇〇地区のイチゴです。
- 5 実はインド人はあまり食べないらしいです。
- 6 「プリンターの青いインク」も「心配事」も、こう言います。
- 8 ノース〇〇〇、サウス〇〇〇というアメリカの州があります。
- 10 〇〇の間の幸せ。
- 11 入ってきた光を受けて伝えます。
- 13 監獄のこと。「〇〇〇〇ブレイク」という海外ドラマも話題になりました。
- 14 お笑いにはこれがないと締まらない。
- 15 商品に貼られています。

5月号のクロスワードにて誤りがあり、大変申し訳ありませんでした。

カギ5の位置 (誤)上から2段目、左から3列目 (正)上から2段目、左から5列目

5月号のこたえ キーワード

アルストロメリア

5月号クイズ当選者

北斗市 おていちゃん さん

森町 ラブ さん

八雲町 カズP さん

1	そ	め	い	よ	し	の
2	が	あ	ろ	す		
3	し	ま	ん	と	た	
4	る	の	ず	る		
5	あ	め	や	ば	じ	
6	ぶ	ろ	つ	こ	り	ー



読者の声

✉ 厚沢部町 ソラパパ さん

やった〜! 2回連続当選! by小2年ソラ

♣ゴメンナサイ! 今回は外れてしまいました。けれど、またご応募くださいね。

✉ 北斗市 おていちゃん さん

認知症予防にクロスワードクイズ。ハウスの中はトマトの花が満開です♡

♣トマトやイチゴ・馬鈴薯など、野菜は小さくてかわいい花が多いですね。満開のハウス、見てみたいです!

✉ 森町 ラブ さん

難しすぎて、困って友達にたのみました。もっとかんたんなのをお願いします。

♣今回は先月よりも簡単なはず、です! ご家族やご友人と一緒に解くのも、楽しみ方のひとつだと思ってほしいです…。

✉ 八雲町 カズP さん

ここのラーメン、何回食べてもおいしいです。

♣香ばしい風味がクセになりますよね。当たりましたので、ぜひまたお召し上がりください。

✉ しょうゆ美人♡ さん

春から農業に関わる仕事をさせていただいており、えすぽわーを読ませていただきました!! これから毎月読ませてもらいます♪

♣これから、ぜひお読みください! メールでも受け付けていますので、感想などを送ってもらえれば嬉しいです。

↓応募用紙はこちら (切り取ってハガキにそのまま貼ってね。)

応募締め切り 6月26日(金) (当日消印有効)

※下記応募用紙には必ず全て記入して下さい。

※コメントのないものは無効とさせていただきます。

キーワード

--	--	--	--	--	--

住所

〒 -

氏名

年齢

TEL

ペンネーム

オ

組合区分

正組員・准組員・その他 ※○を付けて下さい

コメント

広げよう！ 地産地食 図鑑

★15品目★
野菜炒め定食

地元七飯産の野菜とご飯がマッチ

地元食材を使用した「野菜炒め定食」950円(税込)



アスパラをはじめ、地元産の食材を使用



「豊富なメニューを用意していますので、何度でもきてください」と上村店主

今月ご紹介するのは、和食料理店「すき焼かみむら」の上村幸久店主が薦める「野菜炒め定食」です。店は七飯駅のほど近く、徒歩3分ほどの場所にあります。

店主がこだわったのは、地元の食材を使うこと。アスパラやキャベツ、人参、小松菜などの野菜やたっぷりと盛られたご飯は、七飯産のもので。地元のおいしい野菜をいろんな人に食べてほしいという店主の気持ちが込められた一品になっています。女性や年配の方から特に人気で、野菜の味がご飯や味噌汁とマッチします。

上村店主は「肉料理が多い店ですが、七飯の野菜をふんだんに使ったこの定食もとてもヘルシーでおいしいです。ぜひ食べてください」と話します。

すき焼 かみむら

住所：亀田郡七飯町本町1-3-17 TEL：0138-65-2068
営業時間：11：00～22：00 第1、第3日曜日定休

えすばわー新函館

第154号 平成27年6月10日発行

発行／新函館農業協同組合
住所／〒041-1201 北斗市本町1丁目1番21号
(北斗市総合分庁舎隣)
電話／0138-77-5555 (代表)
FAX／0138-77-5566
編集／企画室
印刷／有限会社 三和印刷



JA新はこだて facebook

JA新はこだてホームページからもご覧いただけます。
こちら、よろしくお願いします。

まるめ郎 アルバム

題名：マルメロード第29章
Day: 2015. 5. 5



道南四季の杜公園に遊びにきました。
ネットジャングルに上り、上から見る景色もなかなかいいですね。
上るより下りの方が怖かった・・・(笑)

◆ みなさんは「トウキョウトガリネズミ」というネズミをご存じですか？ 北海道だけに生息している動物で、世界で一番小さい哺乳類の一種としても有名です。

なぜ、北海道にしかないのに「東京」という名がついているのでしょうか。それは、最初に発見した外国人の学者が、「エゾ (Yezo)」と「エド (Yedo)」を書き間違えたからだそうです。

私もしばしば書き間違いをしてしまうのですが、後の世まで残ることの無いように、気を付けたいと思います。

(真)

編集後記

「えすばわー」とはフランス語で「希望」という意味。「えすばわー新函館」が読者の皆さんに希望を届ける広報誌になって欲しい」という願いが込められています。